

東区物語 次回 (第二話)

「東区開拓の祖」大友亀太郎

東区のみならず、札幌の開拓の祖ともいえる大友亀太郎。彼が札幌に残した足跡はあまりにも有名です。

大友亀太郎は、一八三四(天保五)年、相模国足柄下郡西大友(現在の神奈川県小田原市)の農家に生まれました。幼少時から勉強好きで、農作業のかたわら、一通りの学問を独学で身に付けました。

青年時代に二宮尊徳に師事した大友は、それが縁で、蝦夷地開拓のため、北海道に渡りました。



当初、箱館奉行の命令で、道

南地方の開拓に従事した大友は、その仕事ぶりが認められ、新たに石狩地方の開拓を任せられました。一八六六(慶応)二年、元村(現在の元町地区)を開拓の中心と定め、用水路、大友堀の開削を行うなど大活躍。札幌の礎を築きます。

大友亀太郎の足跡などを語る物語の会「東区物語(第二話)」が開催されます。詳しくは、次ページの「お知らせ広場」をご覧ください。

大友亀太郎の足跡を追って  
札幌村郷土記念館

「札幌村郷土記念館」には、東区の開拓に関する多くの貴重な資料が収蔵されています。この記念館は、大友亀太郎が札幌開拓に従事していた時の役宅で、その後、旧札幌村役場の庁舎となった建物の跡地にあります。一九七七(昭和五十二)年四月に、歴史記念館として開館しました。



「札幌玉葱記念碑」の碑文が、タマネギ栽培の歴史を伝えます

館内には、大友亀太郎に関する文献などをはじめ、旧札幌村にまつわる古文書や農機具、生活用具などさまざまな資料が展示されています。

また、前庭には「大友亀太郎役宅跡碑」、「札幌玉葱記念碑」など貴重な石碑も建てられています。



開拓当時をしのばせる農機具

所在地 北13条東16丁目  
連絡先 ☎782-2294  
交通 地下鉄「環状通東駅」下車。4番出口から徒歩3分  
開館時間 午前10時から午後4時まで  
休館日 月曜、祝日の翌日、年末年始  
入館料 無料

広告欄